

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス
飯盛義徳研究室
Keio University SFC / YOSHINORI ISAGAI Lab.

みらいの大井町をつくる・ラボ

慶應義塾大学 飯盛義徳研究会ラジオプロジェクト

基本情報

担当教授 : 飯盛 義徳(いさがいよしのり) 総合政策学部教授
キャンパス: 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(通称SFC)
所属学生 : 総合政策学部・環境情報学部の**学生約40名**が所属

テーマ

各地での実践を通じて、**地域における効果的なプラットフォーム設計**の実践知の創造に挑む

プラットフォームとは？

多様な主体の相互作用によって社会的創発をもたらす**コミュニケーション基盤**のこと。
このプラットフォームをどのように設計していけば、いろいろな人たちの協働が生まれ、新しい活動や価値が生まれるのか、アクションリサーチを通じて具体的方策を明らかにしていきます。

飯盛義徳研究会のプロジェクト

佐原元気プロジェクト

大井町元気プロジェクト

ラジオプロジェクト

スローシティプロジェクト

ファミリービジネスプロジェクト

鷹栖町元気プロジェクト

唐津元気プロジェクト

ブランドコミュニケーションプロジェクト

自治体や企業との委託研究プロジェクト

学生主導の研究プロジェクト

ラジオプロジェクトについて

基本情報

メンバー数: 10名

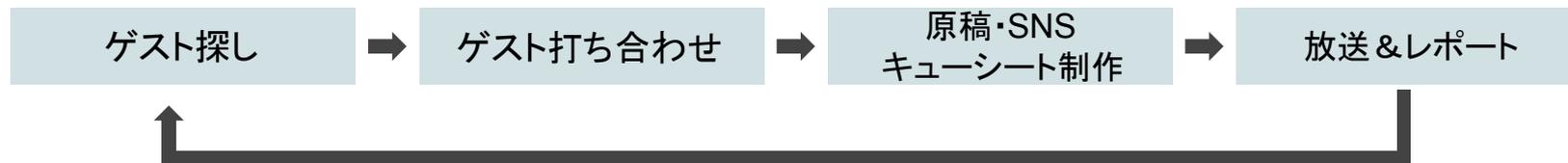
放送番組

番組名: 未来の大井町をつくる・ラボ

放送局: FMしながわ

放送日: 毎週水曜日18:00~19:00(生放送は第一水曜日)

活動内容



※その他メンバー内での会議等

私たちの番組
「みらいの大井町をつくる・ラボ」
ご紹介

名称

みらいの大井町をつくる・ラボ（略称:大井町ラボ）

概要

大井町とその住民の情報を発信することを目的とし、学生が主体となって企画から出演までを行い、大井町の魅力を学生目線でお届けしています！



オープニング

5 min.

あいさつ、本日のお品書きの紹介

みらい対談

15 min.

大井町にゆかりのあるゲストが思い描く未来や、大井町への想いを伺う企画

特別企画 / みらいの部屋

15 min.

ゲストのご希望にそって、放送回によっていずれかの企画を行います。

特別企画 : ゲストと一緒に面白いことをする企画

みらいの部屋: 大井町の課題と現状、解決策についてトークする企画。

エンディング

5 min.

ゲストからのお知らせ、あいさつ

テーマ

大井町にゆかりのあるゲストが思い描く未来、なぜ活動拠点に大井町を選んだか、大井町の魅力など、「ゲストの想いを聞く」企画。

トーク内容

- ・ゲストの自己紹介
- ・今の活動
- ・活動に至った経緯
- ・今後のビジョン
- ・大井町や品川区について思うこと



テーマ

ゲストと大井町のもつ課題や現状について考え、その解決策、未来を議論する 企画。

トーク内容

課題の例

- ・知名度が低い
- ・乗り換えで利用するが下車しない人が多い
- ・再開発による街の情緒の流出
- ・様々な魅力が知られていない



未来の部屋 品川区の銭湯

ゲスト: かどまつ終活相談所 代表・内田真人さん

企画紹介③: 特別企画

テーマ

ゲストの活動や分野などのお題・テーマにそって一緒に面白いことをする企画。

これまでの実績



茶の湯体験

ゲスト: NPO法人喫茶去Cha Know You
岩田玄二さん、美夏さん



「Snack Motti」ラジオ版

ゲスト:
フードコミュニティーラボ 餅田宏喜さん



ママズのまち ハンドメイド体験

ゲスト: ママズオン 代表・石井淑子さん

ラジオ番組に携わろうと思った理由

もともとラジオを聴くのが好きだったため、ラジオ番組制作に携わってみたいかった
ex)SCHOOL OF LOCK! , 有吉弘行のSUNDAY NIGHT DREAMER



ラジオプロジェクトに参加している人の喋りがうまく、憧れたため



大井町の魅力に特化して、情報を伝えることができると考えたため



ラジオは今までほとんど聞いたことがなく、その新鮮さに惹かれたため



学生という立場でラジオにかかわる機会は滅多になく、
貴重な経験になると思ったから



特定の地域に特化した情報を
伝えることが可能

コミュニティFM

地域雑誌

みんなの経済新聞

ラジオを通じた
地域住民との
コミュニティづくり

番組制作のやりがい・苦勞

横のつながりが生まれている実感

(ゲスト×学生、ゲスト×ゲスト)

ex)大井どんたく夏祭り ラジオに出演いただいた方と共同出店
ゲスト同士がコミュニケーションをとり、新たな仕事生まれる



ゲストとのやりとりを通じた進路発見

放送後に進路の相談に乗っていただくことも！



周囲からの反応や声かけ

リスナーの方からのお便りや感想を受け取った時、自分たちの作成した番組が誰かに
伝わっているという実感につながる
ラジオ番組を運営していることを伝えると、応援していただけることが多い



時間的コスト

ゲスト探し、打ち合わせ、原稿 & キューシート作成、放送後のレポート作成 少人数での運営は困難



放送を続けていく上での動機づけ

成果が目に見えて現れるものではないため、漠然と番組制作を進めてしまう瞬間も。



将来の進路イメージ

メディア方面志望(テレビ局、ラジオ局)



大学3年生

観光業界志望



大学2年生

広告系志望



大学3年生

デベロッパー志望
(OB:テレビ局総合職、アナウンサー職種)



大学3年生



慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス
飯盛義徳研究室
Keio University SFC / YOSHINORI ISAGAI Lab.

ご清聴ありがとうございました。

慶應義塾大学 飯盛義徳研究会ラジオプロジェクト